

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2022年10月号①

国葬反対の声が全国で響くの中、安倍元首相の国葬の強行…

とうとう安倍元首相の国葬が強行されてしまいました。当日、京都市本庁舎には日の丸と市旗が半旗であげられ、市長も知事も国葬に公費で参加したとのこと。



国会前には1万6千人の方が反対の声を上げ続けたそうです。京都市庁舎前には200人の市民が集まり、国葬反対の集会が行われました

←京都市本庁舎の半旗

国葬が終わったから、終わりとはできないと思います。国民の6割が反対しているのに、強行するのは、国民を二分することになりますし、大切な税金を16億円以上かけたこと。市長も抗議で参加したことなども、検証が必要です。

反社会的カルト集団の統一協会との関係も次々…

自民党と深い関係があることは、安倍元首相をはじめ、京都市の市会議員も集会参加などが明るみになってますが、京都市も「京都市マラソン」のボランティアに統一協会の関連団体である「世界平和女性連合」「世界平和青年学生連合」が参加し、印刷物に名前を連ねるといふことの意味を認識しなくてはなりません。しかし、京都市は関連団体かどうかかわらないと委員会でもとんでもない答弁しています。

一斉地方選挙 半年後…

9月25日、倉林明子参議院議員と北区府市議3人揃っての街頭演説を北野白梅町と北大路タウン前で行いました。

私は来年4月の一斉地方選挙で7期目の挑戦をし、命が大切にされる政治の実現と、市民と一緒に住民運動に取り組み、無謀な北陸新幹線延伸や一万人アリーナ建設、山林の盛り土は許さないと決意を述べました。倉林明子参議院議員は、国葬について、国民の約6割が反対し、森友学園や加計学園、桜を見る会での私物化の問題は何も解明しないまま。反社会組織の統一協会との関わりが深い安倍元首相について、弔意を強制する国葬は大問題と訴えました。



左から、倉林明子参議院議員、井坂市議、玉本なるみ市議、浜田府議

つづやき：このポスターのどこが問題？！



上下のポスターはいずれも痴漢対策のポスターです。京都市と水族館、京都府警察と一緒に作られましたが、キャッチコピーの立ち位置が違います。下は「ちかん、やめろ！」加害者への警告ですが、上は「警戒心をわすれずに」と書いてあり、被害者にならないように注意を呼び掛けています。これまでから「夜道を歩かないように」「露出度の高い服は着ない」などと被害者に責任を転嫁しようとするのは問題です



鷹峯笹ヶ尾の山林の谷が土砂で盛り土されてます。左から玉本なるみ市議、地域にお住まいの方

驚くべき光景でした。ご近所にお住まいの方が北区の杉阪や鷹峯の山林の谷がどんどん盛り土されている。豪雨が多い中、熱海のよう土砂崩れが起きたら、大変な惨事になると、京都市議会に陳情が出されました。現地に視察に行き、これは大変だと思いました。山の管理ができなくなった持ち主から、儲け主義の業者に渡ると、谷が埋められ、平地になり、大型のメガソーラー・太陽光発電ができると売りに出されている所もあります。確かに、山林産業が斜陽化する中で、山の管理は大変です。国や自治体が地域の方と力を合わせ、山林保全に取り組みなくてはなりません。木材の自給率も今は40%程度、あげる対策とセットでやるべきと議会で追及しています。

山々を守らないぞ！

アンテナ

